

wolfSSL、MQTT v5.0 をサポートする wolfMQTT のリリースを発表

組み込み向けネットワークセキュリティの専門ベンダーである wolfSSL Inc.（本社：米国ワシントン州エドモンズ）は本日、MQTT プロトコルの次世代バージョンとなる MQTT v5.0 に準拠した MQTT クライアント、wolfMQTT をリリースすることを発表しました。

MQTT(Message Queuing Telemetry Transport)は、M2M や IoT のアプリケーションで、Pub/Sub メッセージングモデルによる軽量かつ移植性の高い安全な通信を可能にします。C 言語で一からオリジナルで開発した wolfMQTT は、コンパイル後のサイズが 3.6 kB と非常に軽く、商用またはオープンソース (GPLv2) ライセンスでご使用いただけます。MQTT はその設計上、リソース条件の厳しい組み込みデバイスのオーバーヘッドを減らすため、TCP のみに依存しセキュリティや暗号化のための規定はありません。

wolfMQTT は、MQTT v5.0 仕様と QoS (Quality of Service) レベル 0~2 をサポートし、組み込み向け SSL/TLS セキュリティライブラリの wolfSSL を介して SSL / TLS 暗号化を提供します。ハードウェアアクセラレーションを組み合わせて使う場合、20~30kB という最小の追加リソースで盗聴や中間者攻撃から通信を守ります。また、TLS セッション再開などの技術は、リソースの限られたデバイスでの接続コストを削減します。

wolfSSL の共同設立者兼 CTO である Todd Ouska は次のように述べています。「MQTT v5.0 を使う小規模なクライアントデバイスに対し、最新の TLS1.3 セキュリティを追加できることに大変興奮しています。これにより、さらなるスケーラビリティとより優れたサポートの提供が可能となります。」

1,200 行未満でコンパクトにコーディングした wolfMQTT は、移植性に優れ、外部依存性を最小限に抑え、ライブラリを複数のプラットフォームで簡単にコンパイルすることが可能です。wolfMQTT は Linux、Windows、OS X、μITRON、T-Kernel、FreeRTOS 他、

多くのオペレーティングシステムをサポートしています。また ARM、アナログ・デバイスズ、インテル、マイクロチップ・テクノロジー、NXP、ルネサス エレクトロニクス、ST マイクロエレクトロニクス、テキサス・インスツルメンツなどのシリコンベンダー各社が提供するチップセットも幅広く対応しています。

wolfSSL の共同創設者兼 CEO である Larry Stefonic は次のように述べています。

「新しい MQTT v5.0 は、IoT にとって重要なプロトコルです。wolfMQTT が MQTT v5.0 に対応することにより、開発者は私共の厳しいテストを通過した安全なコードを使い、MQTT5.0 を実装することが可能となります。当社の MQTT 実装は、wolfSSL ライブラリとの組み合わせで多くの実績があり、その性能は実証されています。」

MQTT v5.0 では、プロトコルに次の改良が加えられています：

- 接続後に認証方法/データ情報を送信するための AUTH パケットタイプ
- CONNACK パケットに接続障害をより詳しく説明する理由コードを保持
- サーバーからクライアント方向の DISCONNECT をサポート
- パケットにオプションのキー/値のプロパティの追加が可能に
- UTF-8 文字列ペアの新しいデータ型
- QoS 1 と 2 のパケットについて再試行を中止（TCP が再試行）
- パスワードがユーザ名なしで提供可能

wolfMQTT の詳細は、<https://www.wolfssl.jp/wolfsite/wolfmqtt/> をご覧ください。

wolfMQTT セキュアファームウェアのアップデートについては、

<https://www.wolfssl.jp/wolfblog/2018/05/09/mqttsecurefirmwareupdate/> でご案内しております。

オープンソース版(GPLv2) wolfMQTT は <https://www.wolfssl.jp/wolfsite/download/> からダウンロードいただけます。

===== 【展示会出展と TLS1.3 セッションのご案内】 =====

wolfSSL は、本日からグランフロント大阪で開催の
ET & IoT Technology West 2018 に出展いたします。

明日 7/6(金) 14:15 からはセッション

「進化する SSL/TLS、TLS 1.3 承認で何が変わる？」
を担当いたします。

<https://www.wolfssl.jp/wolfblog/2018/06/25/et-iot-west2018/?invi=p>

=====

wolfSSL Inc.について

wolfSSL は、軽量な組み込みセキュリティのためのソリューションを提供しています。スピード、サイズ、移植性、機能、および標準への準拠にこだわり、研究目的から商用利用まで多様なニーズに合わせ、オープンソースと商用のデュアルライセンスで製品を提供しています。さまざまな方法、手段で、できる限りお客さまとコミュニティのお役に立ちたいと考えています。日本では wolfSSL 技術サポートセンターを東京に持ち、専任スタッフによるサポートサービスを提供しています。

社名と同名のセキュリティライブラリ wolfSSL は、500 社 1,000 品目を超える幅広い分野の製品で採用され、組み込みデバイス向けの最新 TLS 1.3 対応のライブラリとして、世界で唯一の商用ライセンス(2018 年 7 月現在)です。

【お問い合わせ先】

wolfSSL Inc. 日本オフィス 担当: 須賀

Email: info@wolfssl.jp

TEL: 050-3698-1916

<https://www.wolfssl.jp>

https://twitter.com/wolfSSL_Japan